

## ICT 活用研修開発のための視察調査に関する記録・取りまとめ⑥

事業名	平成30年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」 I. 教職員の資質能力向上の推進 (ii) 教職員研修プログラムの構築事業
代表校	一般社団法人全国専門学校教育研究会

会議名	国際こども・福祉カレッジ調査
開催日時	2018年11月06日 10時00分～11時00分
場所	国際こども・福祉カレッジ（新潟県新潟市）
出席者	委員：山根大介 猪俣昇 視察先担当者：小柳津渉 進行・記録：細野康男 石川大樹
聞き取り調査報告 (教員)	<p>国際こども・福祉カレッジにおける ICT 活用事例の聞き取り調査を実施した。</p> <p>小柳津渉 教員</p> <p><b>1. 現状、eラーニング含め ICT をどのように活用をされているか？</b></p> <p>WIFI の整備や iPad を 1 人 1 台購入して持っている環境を授業に活かさないか？と思い、株式会社ウイネットの学内ポータルアプリ「weLink」を採用し、その中の授業支援アプリ「weClass」を活用して授業をおこなっている。</p> <p>授業用のスライド資料や Word で作った資料を教員側で作成、学生に「weClass」を通じて事前配布し、それを見ながら授業を行っている。</p> <p>スライドには、Word 資料、ネットのデータ、Youtube も URL を貼り付けてあるので、学生がすぐにアクセスしやすく、授業をスムーズに進められる。</p> <p>「weClass」には、アンサーチェックというクイズ機能があり、2 択～5 択で学生が今もっている知識で回答できる範囲の出題をして、どのように回答するか？を教員側が管理ツールで見ることができる。</p>

また、「weClass」を活用する以前は、議題を出して学生にノートに考えを書かせていたが、教員が机を巡回してチェックしなければならなかった。

「weClass」の“フリップボード”というホワイトボードメモ機能を使って書かせることで、管理側の教員が、それぞれの学生が書いている様子を iPad から一括で閲覧することができるようになった。それぞれの学生をチェックし、書き進まない子がいればその学生のところだけに行ってアドバイスができる。

その他このアプリには、証明書発行や求人検索、基礎学力を磨くことができる「マイトレーニング」や就職活動の際の一般常識問題のトレーニングにもなるアプリも入っていて使いやすい。

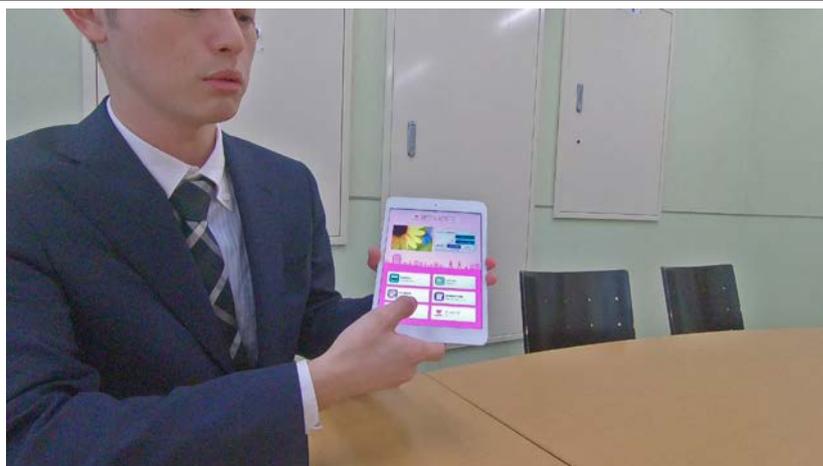
## 2. iPad 上の「weClass」導入前と比べどのような効果や改善点があったか？

本当に私の主観だが、クイズ形式で問題を解かせる、教員が学生の iPad の記入欄にアクセスできることで、学生から見ると、自分の意見を拾ってくれやすくなっていると思ってくれる点では、ICT をポジティブに捉えてくれてはいます。ただ、全員が同じ意見ではなくて、学生の中には板書からノートを取る形式の方が好きだという学生もいて、そっちの方が、成績が上がる場合もある。逆にノートを取るのは苦手だけど iPad を使う方が、学習意欲が上がるという子もいたりするので、全員統一というのは難しいかと思うが、保育、教育分野にくる学生は iPad 活用に反応がいい学生が多く、ICT にもいい反応をしてくれる学生は少し多いかなと感覚はある。

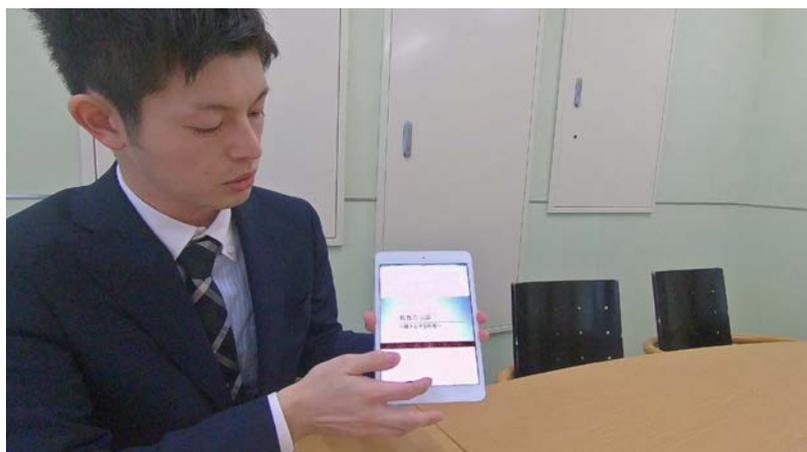
クイズ形式での知識確認のテストも、テレビ番組のように、制限時間を決め、回答の速さを競わせるなど、ゲーム要素を盛り込めることにより、学生の反応もよい。

またホワイトボード機能の「フリップボード」は、記入する様子を教員が管理画面で閲覧できるので、サボっているか？が一目瞭然。紙のノートをとっていた時代なら、実はサボっていたかもしれないが、導入後はサボる学生は減ったように思う。

	<p>教員側の授業準備で言えば、プリント配布などは ICT 化により印刷の手間や、授業の直前に印刷しておきたかったプリントが印刷されていない事に気づいて、困るということもなくなった。</p> <p>3. ベテランの先生ほど、ICT を活用せずとも効果は出せていたという自負があり、必要ないという意見もあるが、どうしたら普及させられると思うか？</p> <p>リーダー的な教員が積極的に活用しているのであればみんなもやってみようかと思うかもしれないが、やはり若い教員が中心的に使っているのかと思う。若い教員の意見に耳を傾けてくれるベテラン教員も、きっと世の中には大勢いるとは思いますが、固定概念があって、(ICT 活用の説明を) 聞いても「わからない、難しい」となってしまったら、活用は広まっていかないと感じる。</p> <p>例えば教員が二人一組で ICT 活用をできるような体制を組めればどんどん普及していくと思う。</p> <p>私の学校の教務部長は新しいことが好きな方なので、こんな機能を使ってみた等、常に情報交換をしているし、「どんどん使って！」といわれる。ただ今後学校全体でとなると、全教員に研修をして活用を促進する方法が妥当なのではないかなと思う。</p> <p>4. 課題・今後取り組みたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生の出欠管理</li> <li>・ 学生が教員の配布資料に iPad 上でメモできる機能がほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>
見学内容 所感	<p>(見学内容)</p> <p>◆小柳津教員の iPad で weClass を閲覧 (写真 1. 2. 3)</p>



(写真1) 国際こども・福祉カレッジ用にカスタマイズされた学内ポータルアプリ「weLink」・このポータルアプリ内に学校のホームページへのアクセスや、授業支援アプリ「weClass」など必要な機能がすべて入っており、学生はこのアプリでログインをして授業で使う資料などを見たりクイズに答えたり、ホワイトボードに考えを記入したりする。



(写真2) 小柳津教員が作成した授業用のスライド資料をiPadで表示させている様子。指でのフリックでめくれるので使いやすい



(写真3) クラスの学生の一覧管理画面。ここから状態を見たい学生の名前をタップし、記入の様子などを確認できる。

**(所感)**

- ・ デジタルデータにすることで、印刷し忘れなどのリスクを減らせるという点は授業準備の軽減化として興味深い。
- ・ クイズ形式で学生への授業参加を促すなど、楽しみながら授業を受けられる要素は ICT ならではの感じる。
- ・ ホワイトボード機能「フリップボード」を教員側から閲覧できるのはサボリ防止や学生の意見を拾いやすくなり質問や発言などに消極的なシャイな学生に対しても先生がサポートしやすくなるので有効であると感じた。

以上